

本邦で初めて、デジタル証明書アプリ「VeriFLY」を活用した ワクチン接種証明書の登録が可能となりました

2021年11月8日
第 21074号

- ✓ 米国に入国する渡航者のワクチン接種義務化に合わせ、VeriFLYでワクチン接種証明書の登録が可能となりました
- ✓ 現在VeriFLYを使用できないハワイ線においても、年内にはVeriFLYの運用を開始できる見込みです
- ✓ その他、ヨーロッパ・アジア路線への展開も検討してまいります

JALは、安全・安心でスムーズな海外渡航に向けて、2021年4月末よりデジタル証明書アプリ「VeriFLY」(*1)の検証を重ねておりましたが、10月より日本発米国本土行き(グアム・ハワイ線を除く)において本格運用を開始しております。

このたび、米国時間の11月8日以降、米国へ入国する全ての渡航者に対し、新型コロナウイルスのワクチン接種完了が求められることとなりました。この新しい入国要件に合わせ、「VeriFLY」では、従来の検査結果に加え、ワクチン接種証明書(*2)の取り扱いが可能となりました。あらかじめワクチン接種証明書をVeriFLYに登録いただき、出発日当日に、チェックインカウンターでアプリに表示された渡航判定結果をご提示いただくことで、搭乗手続きがさらにスムーズになります。

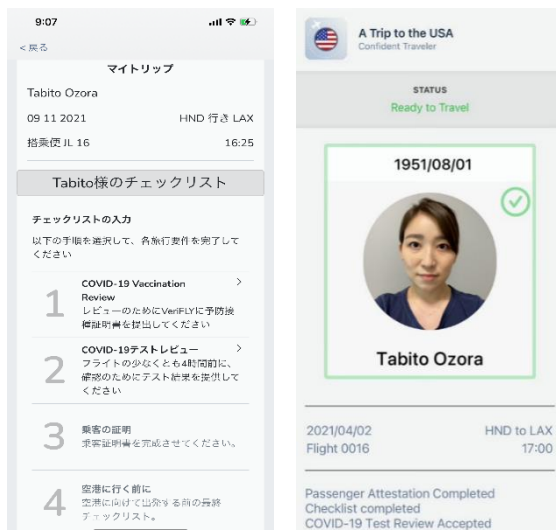
(*1)2021年4月2日付プレスリリース第21003号『安全・安心でスムーズな渡航に向け、3つのデジタル証明書アプリ「コモンパス」、「VeriFLY」、「IATAトラベルパス」との取り組みを開始』 URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202104/006026.html>

(*2)アメリカが有効とするワクチンを、必要回数接種してから14日以上経過していることを証明するワクチン接種証明書(個人情報がパスポート等の本人確認書類に記載のある事項と一致するもの)

【VeriFLYの特長】

生体認証技術による本人認証のサービスを展開しているアメリカのDaon社が開発したアプリで、アメリカを始めヨーロッパの一部路線では既に導入されています。お客さまは、新型コロナウイルス検査証明書やワクチン接種証明書の登録、渡航先の入国要件に合わせた準備書類などを、事前に参照・入力・管理することができます。

VeriFLYに関する弊社Webページ URL: <https://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/verify/>



今後も利用可能路線の拡大や、使いやすいデジタル証明書アプリの普及に努め、より多くのお客さまに安全・安心でスムーズな空の旅を提供してまいります。

以上